

八峰白神ジオパーク

連載 102回



事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係

☎ 0185 (76) 4605 FAX 0185 (76) 2203

HP <http://www.shirakami.or.jp/~happo-sh-geo/>



八峰町は何もない……

いえいえ、まだ知らないだけ！

今回紹介するジオサイトは

「**椿海岸の柱状節理**」です!!



【八森小5年生がジオ学習!】

7月9日、八森小学校の5年生が八峰白神ジオパークを探検しました。体験センターを出発し、白瀑と留山に出かけました。白瀑は、海底の火山活動でできた「**素波里安山岩体**」の岩肌を流れ落ちる信仰の滝です。児童は滝を目の前に、ガイドさんから白瀑ができた歴史や、ブナの説明を受けました。

留山散策では快晴の中、ブナ林を歩きました。なぜ留山というのか、どうしてここにブナ林があるのか等説明

を受けました。幹の太さを見て「このブナは何歳だと思う?」「50歳!」「100歳!」「実は200~250歳ですよ」そんなガイドさんとのやり取りも。さすが八峰町の子もたちです。たくさんの質問や発見がありました! 見て聞いて触って…何もないただの田舎と置いていても視点を変えるとたくさんの宝物があります。



白瀑での様子



【柱状節理ってなに?】

八峰白神ジオパークのジオサイトで有名なものが「椿海岸の柱状節理」です。秋田県指定天然記念物にもなっています。ところでみなさん、「柱状節理」とはなにか知っていますか?

「節理」とは岩石の割れ目のことです。それが「柱状」、つまり柱(木材)のような形になっている、ということです。岩石が規則的に割れて、あたかも人が作った角材のように見えます。なぜ規則的に割れるのか不思議じゃありませんか?

それは、「溶岩が冷えると縮む性質」に関係します。柱状節理は、上から見ると六角形や八角形などになっています。溶岩が冷える時、内部の温度と表面の温度が違うことで、全ての場所でいっせいに縮もうとします。等間隔に並んだ中心に縮もうとすると六角形などの亀裂が生じるのです。…と言われても少し難しいですね。下の4コマで簡単に説明していますのでご覧ください。

柱状節理を上から見た写真



※参考文献… 岩石・地層・地形から地球の成り立ちや活動を知る
増補改訂版 地層の見方がわかる フィールド図鑑

👁️ ジオサイトを見に行こう!

20か所あるジオサイト(見どころ)を順番に紹介していきます。今月は「椿海岸の柱状節理」です。上記にもありますが、ここは、八峰白神ジオパークの顔ともいえる代表的なジオサイトになっています。写真では見たことがあるけれど、実際に行ったことがないという人もいるかもしれません。

実際に見てみると、写真で見るよりも大迫力! ぜひ足を運んでみてください。どうやって柱のような石ができるのか4コマで解説します。

